

# 赤野井湾・木浜内湖の水草異常繁茂

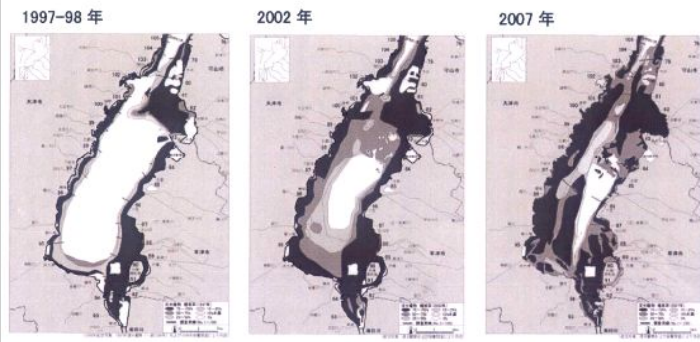


図 2-1 南湖の群落面積の変化（水草分布図は水資源機構調査結果）

## メカニズムの解明と水草除去の抜本対策を

びわ湖南湖や赤野井湾、木浜内湖などで水草の異常繁茂が環境へ多大な影響を及ぼしている問題では、「びわ湖の水位低下が起因していることは明らか。それだけに国の責任でメカニズムの解明と水草除去対策に積極的な財政支援をするべき」と迫りました。1994年の異常湧水以降、びわ湖南湖の水草の異常繁茂が大きな問題となっています。しかしそのメカニズムの解明は充分されていません。漁船の航行にも影響が及んでいることから、藻刈り船や人力による刈取を行っています。財政的な側面から場当たりの対応に終始しています。政府交渉では国の責任による対応を求めました。



**要求実現へ 政府と直接交渉してきました**

**小牧一美議員**

**日本共産党湖南地域議員団**

日本共産党の小牧一美市議は2月10日、甲賀・湖南・野洲・栗東・草津の市議団と一緒に、市民のみなさんから寄せられている切実な要求を実現するため上京、6省に31項目の要望を手渡し、その実現を迫りました（写真）。

## 栗東RD産廃処分場 全容解明に向け県へ指導を



地中からは硫化水素ガスが...

違法な廃棄物が大量に埋められたことが大きな問題となり、地下水汚染が心配される栗東のRD産廃処分場。今後の対策について、「ボーリング調査は有害物を探すのが目的。そのためには元従業員の証言や調査方法についても有効な内容にすべき」との認識を示し、国として県に働きかけることを約束しました。（写真はRD産廃処分場を調査する小牧議員ら）

高層建築物による受信不可の世帯など、地デジ波が受信できるのかどうか、明らかにして、政府の責任で、テレビが見られるよう積極的な支援をすること、低所得者や高齢世帯などに対しては特に支援することなどを求めました。

**地デジ 新たな「難視区域」 具体的な対策を急げ**

交渉には、山下よしき参院議員も同席。雇用促進住宅やRD産廃処分場、国保問題などで、解決に道を開く貴重な前進を切り開きました。

## 3月議会 代表質問・一般質問のおもな内容

### 守山市民病院の今後について

(問) 政府が医療費削減のために自治体病院に策定を義務づけた「市民病院改革プラン」は、自治体病院のあるべき姿よりも、財政の効率性のみを追求するもの。介護療養病床全廃や、土曜日休診などの具体化は、地域医療の崩壊を加速させる危険性をはらんでいる。守山市民病院の今後のあり方について問う。  
(病院事務長) 介護型から医療型へ転換し、回復期・慢性期の患者さんを受け入れることで病床利用率を上げ、医業収益の確保を図る。

### 地元中小企業への支援について

(問) 市内中小企業の現状は、守山市の活性化、雇用確保、技術の継承という点からも、また、税収確保という点からも、放置できない喫緊の課題。改修や修繕などの小規模公共工事を意識的に地元中小業者に発注せよ。住宅リフォーム助成制度、中小企業振興条例など市独自の積極的な振興策を求め。  
(市長) 事業の前倒し、新年度の積極予算、

公共工事の分割発注を行っている。今後も、中小企業支援に取り組む。

### 守山市の同和施策について

(問) 国の法律による特別対策が失効して7年。「同和」の冠をなくし、必要な施策については一般施策とすること。これがいま自治体に求められていることと考えるがどうか。

(副市長) 法の有無にかかわらず、部落差別の実態がある限り、総合行政施策として取り組むことが、基本姿勢。しかし、現在5つある特別施策については、今後、地域の実態を把握しながら、見直しを進めていきたい。

### 聴覚障害者施策の充実について

(問) 不在となっている専任手話通訳者を直ちに配置すべき。採用は、正規職員で、しかも複数配置を。日常生活用具として認められているアイドラゴンも認めるべき。

(健康福祉部理事) 不在状態の解消努力はした。正規複数配置は考えていない。「アイドラゴン」については適切対応していく。

## 環境対策特別委員会での現地研修



岡山市へ 地球温暖化対策の先進地研修。松江市へ環境保全対策の先進地研修

野洲川、赤野井湾・木浜内湖の現状を調査



## 活動トピックス



栗東RD産廃処分場現地調査

埋められていた医療廃棄物などの違法投棄物や、いまま中から硫化水素ガスが出ている現場などを現地調査。その深刻な状況に、確実な対策の必要性を実感。